



町民内覧会で初披露

文化伝える仕掛けに感心 / 開業待ち遠しい



澄み渡った湖畔と空の下、来場者を魅了した古式舞踊の上演（チキサニ広場）

国が整備した民族共生象徴空間（ウボポイ）で6月9〜14日、地元白老町民を対象にした内覧会が開かれました。1300人を超える関係者や町民がアイヌ民族文化の発信拠点に初めて足を運び、開業への期待を膨らませました。博物館展示や工芸品製作の実演見学、短編映像の上映、舞踊、レストラン試食体験などを味わった町民の声を紹介します。



飯嶋啓さん(77)
狩りの展示に興味がありました。開館前に見られて本当に感動しました。全国、世界からぜひ来てほしい。



大西璃歩さん 小学5年
楽しみにしていません。入口の「いざすてきだった。まだまだ見るところがいっぱい!」



工藤茂雄さん(80)
展示物は地域がどうなる説明があればよかった。何回も来てみたい。ほかの人たちにもそう思ってもらいたい。白老は、白老のままであってほしい。



山本宏さん(60)
北海道に住む人として、共有を深めたいです。映像設備にびつくりしました。ステージと一体感を感じました。今度は友達と一緒に来たい。一人で回るのはもったいない。



久保知加子さん(78)
楽しみにしていました。博物館は立派で、期待以上でした。これだけ立派なので、全国各地のたくさんの人に見に来てほしい。